

-古河公方公園- 公園だより



2025年4月号

【発行】

(一財)古河市地域振興公社
古河公方公園(古河総合公園)
茨城県古河市鴻巣399-1
電話0280-47-1129

■第49回古河桃まつり開催 春の風物詩・桃まつり(古河市観光協会)3/15~3/30

3/15(土)から3/30(日)にかけて、第49回古河桃まつりが開催されました。今年は寒さの影響で花桃の開花が遅れ、桃まつり直前の3/12に開花宣言が行われました。しかし、その分桃まつり最終日まで見頃が続き、多くの方に花桃を楽しんでいただけました。桃むすめの皆さんによるおもてなしや、3/22に実施された夜のイベント(花桃のライトアップ、手筒花火、打ち上げ花火、スカイランタンイベント)で桃まつりに花を添えました。



■公園朝市等複数イベント同時開催!



3/1、2の二日間、公園朝市、ドッグフレンドリーフェスタ、ECO フェスタ古河の三つのイベントが同時開催されました。公園朝市では美味しいグルメなどが並び、ドッグフレンドリーフェスタではワンちゃんたちのふれあいの場所に、ECO フェスタでは環境に関するブースなどが並び、盛りだくさんの内容でした。



■古河桃林の由来と桃まつり

江戸時代初期、古河城主の土井利勝(どいとしかつ)が、江戸で家臣の子供たちに桃の種を拾い集めさせ、古河に送って農民に育てさせたのが古河の桃林の始まりです。領地では燃料となる薪が乏しかったため、成長が早く、果実が食料となる桃が選ばれました。

天保の頃、桃の植え替えを行ったことがきっかけで、古河が花見の名所として知られるようになりました。明治時代になると、花の時期には観桃会と称して、芸妓の手踊りや競馬大会なども催され、80軒ほどの料理屋や茶店が軒を連ね、上野駅から臨時列車が運行されました。当時の桃は、半兵衛(はんべえ)、金時(きんとき)、天津(てんしん)、水密(すいみつ)という品種の食用の桃だったそうです。

その後、古河市では古河公方公園(古河総合公園)の開園を機に、花桃を植えて桃林を復活させました。現在、古河に春の到来を告げる桃まつりは、市民の喜びであると共に、市内の方々との交流を深める大切な催しとなっています。



■令和6年度古河市による公園整備について

- ①既存のカキツバタ園の北側にもう一面カキツバタ園を整備し、新たにカキツバタを植栽しました。
- ②園路舗装工事の実施し、車いすでも桃林を周れるようになりました。また、芋ころがし坂の一部も舗装し、歩きやすく、快適に公園南エリアにアクセスできるようになりました。
- ③第2カキツバタ園の北側を掘削し、今後、市民で管理する水辺のビオトープとなる湿性植物園を作りました。



舗装した園路

第2カキツバタ園

湿性植物園



★古河公方公園公式アカウントを開設しました!

公園の様々な情報をアップしていますので、是非みなさまフォローをよろしくお願いいたします。

- Instagram @koga_kubou
- X(旧Twitter) @kubou_park

インスタグラムアカウント



X(旧ツイッター)アカウント



○公園だよりは公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索

